

2024年度 転学部・転学科・編入学選抜〔B日程〕

小論文問題

(経済学部 経済学科)

- ・2024年2月現在時点において、2020年2月段階に比べ円安・ドル高と消費者物価指数の上昇が生じている。そもそも日本銀行は2%の物価安定目標を定めているため、これは一見良いものに見えるが、日本では、消費者物価指数の上昇は望ましくないという論調もメディアでは見られる。これらの点に関する下記の3つの問いに答えなさい。
- (1) 日本の消費者物価指数の上昇は望ましくないとメディアで述べられている理由を、消費者行動の観点から示しなさい。
- (2) このような円安・ドル高が生じる原因の一つは投機といわれる。日本の国債とアメリカの国債の金利差があることで円安・ドル高が生まれる理由を、消費者行動の観点から説明しなさい。
- (3) 2%の物価安定目標を達成するために必要な経済政策を、マクロ経済学的観点から示しなさい。